

研究課題名：コロナ禍での当院における結核診療の実態をコロナ禍前と比較する調査

所属(診療科)：呼吸器内科

研究責任者(職名)：上原 隆志 (医師)

研究期間：2023 年 4 月 14 日～2023 年 12 月 31 日

研究目的と意義：我が国では「亡国病」とも恐れられていた結核症は、その治療の進歩や公衆衛生の向上によって、患者さんが少なくなりました。2021年に日本はようやく結核低蔓延国となりましたが、もしかすると COVID-19 の新興が影響したのかもしれない。咳エチケット・在宅勤務など国民行動様式の変化だけではなく、結核診療体制がどう変わったか、実態が明確ではありません。

当院での結核患者さんの診療をコロナ禍前と比べて、結核診療に変化があったか検討することを目的としています。

研究内容：

●対象となる患者さん： 2017 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日までの間に，当院で肺結核症もしくは肺外結核症として診断された方

●利用する情報/資料：年齢、性別、主訴、診断方法、診療科、主治医、合併症、抗酸菌免疫学的検査、抗酸菌塗抹・培養検査，治療内容とくに抗結核薬の使用状況，転帰，X線や CT などの画像所見など．これらを匿名化した電子化データとして集積します．

これらの情報は研究終了後 5 年または研究結果発表後 3 年のいずれか遅い時期に廃棄します．

●研究方法：過去の診療内容を振り返って調べる方法です（後向きに解析する観察研究）．データ解析は院内のみで行われます．

問い合わせ先：

【研究担当者】

氏名： 上原 隆志

住所：〒238-8567 神奈川県横須賀市上町 2-36

電話：046-823-2630 FAX：046-827-1305

受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）